
第 78 回数理社会学会大会 (JAMS78) プログラム

日時：2025 年 3 月 13 日（木）～3 月 14 日（金）

会場：青山学院大学相模原キャンパス

大会委員長：大林真也（青山学院大学）

1 参加費：

一般（会員）5,000 円 学生・院生（会員）1,000 円

一般（非会員）6,000 円 学生・院生（非会員）3,000 円

2 懇親会費：

一般 5,000 円 学生・院生 2,000 円

3 主なスケジュール

時間			
3 月 12 日	15:00～17:00	編集委員会	研究活動委員会
	17:10～19:00	理事会	
3 月 13 日	9:15～10:55	自由報告 I (第 1 部会)	自由報告 II (第 2 部会)
	11:10～12:40	自由報告 III (第 3 部会)	萌芽的セッション I
	12:40～13:40	昼食休憩	
	13:40～15:10	自由報告 IV (第 4 部会)	萌芽的セッション II
	15:25～16:55	自由報告 V (第 5 部会)	萌芽的セッション III
	17:10～18:10	総会	
3 月 14 日	9:20～10:50	自由報告 VI (第 6 部会)	萌芽的セッション IV
	11:00～12:50	シンポジウム	

4 主な会場 (F407 室)

- 受付：F 棟 1 階・入口
- 会員控室・抜き刷り交換コーナー：F409 室

5 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- 会場設置パソコンを利用できます (Windows10, Office365)。持参パソコンの場合、HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。

- 配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- (司会者の方々へ) 部会開始5分前に集合ください。報告12分で1鈴、15分2鈴、25分3鈴を鳴らします。

6 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- 1日目の萌芽的セッションIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後15分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- 1日目の萌芽的セッションIIで報告される方はポスターを昼食休憩中（12:40～13:30）になるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後5分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- 1日目の萌芽的セッションIIIで報告される方はポスターを小休憩中（15:10～15:25）に貼りつけていただき、セッション終了後に取り外しください。セッション後15分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- 2日目の萌芽的セッションIVで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後15分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- 最大でA0（縦1189×横841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- 部会開始5分前に集合してください。

7 問い合わせ先

研究事務局 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学 法学部 竹ノ下弘久

E-mail: thiro0406[at]keio.jp

jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1（相模原キャンパス）

青山学院大学 社会情報学部社会情報学科 大林 真也

3月12日（水）

15:00～17:00 編集委員会	F402 室
15:00～17:00 研究活動委員会	F403 室
17:10～19:00 理事会	F402 室

3月13日（木）

08:45 開場	
09:00 開会挨拶 大会委員長 大林真也	F407 室
09:15～10:55 自由報告 I・自由報告 II	
【第1部会】 階層 司会 濱本真一（日本大学）	F407 室

1	教育が職業達成に与える影響と社会的出自による効果の異質性— きょうだい固定効果モデルを用いて—	石橋拳（統計数理研究所/専修大学大学院）
2	子どもの教育期待に対するきょうだいの影響	清田舜（日本大学）
3	1990年以降の日本における配偶者に求める文化資本の変容	○村上真都（同志社大学大学院）、森陽菜（同志社大学）、河瀬彰宏（同志社大学）

【第2部会】 環境とジェンダーの数理と計量	F408 室
-----------------------	--------

司会 三隅一人（九州大学）

1	NIMBY 施設設置の一次元モデル	○石田淳（関西学院大学）、前田豊（前田豊）
2	How to Reduce Cigarette Butt Littering: A Field Experiment	○浜田宏（東北大学）、山口侑平（東北大学）、千葉真（東北大学）、鶴谷匠（東北大学）
3	環境配慮意識に至る心理プロセスの国際比較	○菅原愛（青山学院大学）、大林真也（青山学院大学）
4	性愛の多様性	落合仁司

* * * * 休憩（15分） * * * *

11:10～12:40 自由報告Ⅲ・萌芽的セッション I

【第3部会】 協力行動と余暇

F407 室

司会 石田淳（関西学院大学）

1	大集団内の一般交換: クラブへの OB・OG 寄付における互酬性	○太郎丸博（京都大学）、松元萌里香（京都大学）
2	街歩きなどの余暇活動に影響する要因の検討	千葉真（東北大学大学院）

【萌芽的セッション I】

F405 室

1	差別認識の多様性：アメリカの白人と黒人に対する調査	○五十嵐彰（大阪大学）、齋藤僚介（大阪大学）
2	階層の天井 class ceiling と階層の床 class floor——因果関係モデルによる再検討——	成澤雅寛（一橋大学/日本学術振興会特別研究員）
3	正規労働者における給与満足度の男女差	○松本薰（国際経済労働研究所）、山本耕平（国際経済労働研究所）、鈴木文子（国際経済労働研究所・大阪公立大学）
4	地域共有物管理を結ぶネットワーク	三隅一人（九州大学）
5	犬が生み出す紐帶とも呼べぬ社会関係	石黒格（立教大学）
6	就職活動の早期化をめぐる議論における学生の位置づけ—Structural Topic Model を用いたアプローチ—	○鴨下響（早稲田大学大学院）、楠瀬千尋（早稲田大学大学院）
7	小学生の習い事と学習塾の変遷パターン：マルチチャンネル系列分析による検討	○小西凌（三重大学大学院）、鈴木健一郎（名古屋大学大学院）
8	映画が扱うトピックと社会的な関心：トピックモデルを用いた分析	○地田彩乃（ミリマン・インク）、岩崎宏介（ミリマン・インク）、佐藤嘉倫（京都先端科学大学）
9	E 米国国会における投票結果へのコミュニティ影響の時間ダイナミックネットワーク分析	裴啓恒（東北大学大学院）
10	E 大規模言語モデルにおける採用判断の適用に関する審査	WANG ZHICHAO（東北大）
11	数理・計量社会学版「読みやすいコード」規準の構築	濱本真一（日本大学）
12	男性の家事参加の規定要因——仮定の妻 3 条件の要因配置実験から——	○田邊美央（立教大学）、瀬戸健太郎（立教大学）、鳥居勇気（日本学術振興会／立教大学大学院）、大崎裕子（立教大学）

13	日本企業ネットワーク、利潤の変動、新型コロナウィルスのショックについて	藤山英樹（獨協大学）
14	学校教員に生じる家族内職業継承の現状と職業意識	三輪卓見（東京大学大学院）
15	E Transnationalism and Subjective Well-being of Immigrants in Japan	陳泰イティ（慶應義塾大学大学院）
16	小地域推定を用いた教育機会の格差の分析	小川和孝（東北大学）
17	誰がいつ学校外の教育を利用するか？親の階層と学校外教育の効果との関連に着目して	○北村友宏（慶應義塾大学大学院）、竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
18	衛星画像は所得分布の夢を見るか？	山口侑平（東北大学大学院）

* * * * 昼食休憩（60分）* * * *

13:40～15:10 自由報告IV・萌芽的セッションII

【第4部会】 政治

F407室

司会 斎藤僚介（大阪大学）

1	第50回衆院選挙で政党はどのように闘ったのか—得票率変動の定量的分析に基づく闘争内容の解明—	嶋田一郎（東北大学）
2	選挙は"真の"反移民態度に影響を与えるか：2024年アメリカ大統領選における実験	○五十嵐彰（大阪大学）、小椋郁馬（一橋大学）
3	日本社会における教育の公的支出への世論の推移に関する研究—少子高齢化との関連を考慮した分析—	森坂太一（東北大学大学院／日本学術振興会）

【萌芽的セッションII】

F405室

1	デュアルキャリアカップルの家庭と仕事：二体問題（Two-body problem）の視点から	百瀬由璃絵（東京大学）・○黒川すみれ（福岡県立大学）
2	アラカルト単語埋め込みモデルによる言説空間の計算論的把握—ヴィーガンについての日本語ブログ記事を対象として—	飛松大騎（東京大学大学院）
3	学習支援拠点における居場所性と地域要因との関連	田中祐児（東京大学大学院）
4	賃金交渉により生じる社会的コストの性差	○森川ゆり子（東京大学）・瀧川裕貴（東京大学）
5	かぎっ子の生活と生活時間	笛田照央（京都大学大学院）
6	学校基本調査学科系統分類の国際標準教育分類への再コーディング：STEMの女性割合を事例として	○小黒恵（労働政策研究・研修機構）、打越文弥（ハーバード大学）、麦山亮太（学習院大学）、寺本えりか（ウィ

		スコンシン大学), 豊永耕平 (近畿大学)
8	ひとり親世帯の子どもの生活時間：親の帰宅時間による影響に着目して	建部知則（学習院大学大学院）
9	子どもの属性が親の教育アスピレーション・期待に与える影響：親学歴による影響の差異	太田裕一郎（大阪大学大学院）
10	繰り返しのある社会的ジレンマゲーム下での持続的協力の原因解明：意思決定の数理モデル化を目指した検討	○成田達樹(青山学院大学), 水野景子(関西学院大学), 井上裕香子(安田女子大学), 清成透子(青山学院大学)
11	価値観の差異における社会的地位を考慮したいじめの数理モデル	阿藤寛奈（同志社大学大学院）, 阿部真人（同志社大学）
12	大学中退者の職歴に対する転職市場での評価	下瀬川陽（作新学院大学）
13	業績主義的競争社会における教育機会の不平等	成澤雅寛（一橋大学/日本学術振興会特別研究員）, ○石橋拳（統計数理研究所/専修大学大学院）
14	1970年代の『anan』と『non-no』における旅：計量分析に向けた予備的考察	○小田中悠(京都先端科学大学), 牛脇政孝(中京大学)
15	Big5性格特性とオンライン掲示板におけるコメント傾向の関連性	○稻垣佑典(成城大学), 大林真也(青山学院大学), 瀧川裕貴(東京大学), 謝拓文(東北大学大学院)
16	信頼と予期：全国調査データによる検討	内藤準（成蹊大学）
17	日本人の国際移動アスピレーション：『日本人の意識調査』を用いた計量分析	木原盾（慶應義塾大学）
18	社会的ジレンマにおける信頼の個人差を考慮した実証研究	門間晴風(東北大学大学院)

* * * * 休憩（15分） * * * *

15:25～16:55 自由報告V

【第5部会】 調査法と実験

F407室

司会 小川和孝（東北大学）

1	オンライン掲示板における社会的地位生成メカニズム：マクロ社会学実験に基づく実証	○大林真也（青山学院大学）、稻垣佑典（成城大学）、瀧川裕貴（東京大学）、謝拓文（東北大学）
2	マルチモーダル AI による災害情報アーカイブ作成にむけた一考察	矢野良輔○（東京海上ディーアール）、佐藤一郎（東京海上ディーアール）
3	中3時自己評価成績の想起改善のための調査票に関する研究——無作為割り当てデザインによる分析——	○西尾知耀（東北大学大学院）、森坂太一（東北大学大学院）

【萌芽的セッションIII】

F405室

1	深層学習を適用した職業情報追加システム—CSRDA_SSJDA Panel調査における実験—	○高橋和子（敬愛大学）、藤原翔（東京大学）、奥村学（東京科学大学）、鈴木泰山（（株）ピコラボ）、鈴木佑京（（株）ピコラボ）、合木茂（（株）ピコラボ）
2	日本企業の外国人雇用はどう変化しているのか	園田薰（東京大学）
3	選択的夫婦別姓に関する意見分布と表出される意見分布とのズレ	○岩田和也（関西学院大学）、清水裕士（関西学院大学）
4	AI-augmented Synthetic Social Survey Data: Can Large Language Models Predict Public Opinion?	○Zeyu Lyu（東北大学）、Zhichao Wang（東北大学）
5	忘却するQ学習エージェントは協力できるか	大浦宏邦（帝京大学）
6	どのように逸脱集団が形成されるか：Church and Sect モデルを応用したシミュレーションによる分析	毛塚和宏（九州大学）
7	現代日本における政党間競争と社会階層：ブルーカラー労働者に着目して	桑名祐樹（国士館大学）
8	調査設計とその研究動向に関する基礎分析	渡辺健太郎（立教大学）、前田忠彦（統計数理研究所）
9	文理選択の進路指導に関するサーベイ実験の予備的検討	田邊和彦（日本学術振興会／立教大学）
10	意思決定モデルによる移民の脅威に対する反応プロセスの解明	○柏原宗一郎（関西学院大

		学/日本学術振興会), 清水 裕士 (関西学院大学)
11	経済ゲームにおける選択肢名称の選択行動	○水鳥翔伍 (北海道大学文 学院), 小野さくら (北海道 大学文学院), 水野景子 (関 西学院大学)
12	新卒採用におけるスキル評価のジェンダー差	豊永耕平 (近畿大学)
13	住宅所有と主観的ウェルビーイング: 加齢による格差の拡大?	山本耕平 (国際経済労働研 究所)
14	コロナ禍による、地方都市における事業所の構造の変化に関する 研究	○梶田実愛 (同志社大学), 河瀬彰宏 (同志社大学)
15	Motherhood Penalty の (再) 検証	具弦俊 (立教大学大学院)
16	児童虐待における記録のあり方の一検討～障害記載状況の基礎的 分析から～	○泉田信行(国立社会保障・ 人口問題研究所), 藤間公太 (京都大学大学院)
17	新 NISA 制度が市場参加率に与える影響の検討	井原悠至 (同志社大学)

* * * * 休憩 (15 分) * * * *

17:10~18:10 総会

F407 室

18:30~20:30 懇親会

G 棟 2 階カフェテリア

3月14日 (金)

09:00 開場

09:20~10:50 自由報告VI・萌芽的セッションIV

【第6部会】 職業

F407 室

司会 吉田航 (国立社会保障・人口問題研究所)

1	Feature-wide Effect Heterogeneity of Retirement on Subsequent Health through Causal Forests	新田真悟 (日本学術振興会/ 学習院大学)
2	E The Role of Work Location in Mental Distress During COVID- 19: Examining Gender Differences	Peng Shan (Tohoku Univ ersity)
3	職場における柔軟性と男女間賃金格差—分位点回帰にもとづく要 因分解による検討—	鈴木健一郎 (名古屋大学大 学院)

【萌芽的セッションIV】

F405 室

1	ウェブ調査のデータ品質の研究—短時間回答者に着目して—	○加藤舞子（立教大学）、三輪哲（立教大学）
2	ウェルビーイングの評価規定要因に関するコンジョイント実験：善き生、幸せ、意味のある人生という3つの評価的観点の比較を中心に	○保田幸子（東京大学）・石橋拳（統計数理研究所/専修大学大学院）、謝拓文（東北大学）・齋藤崇治（名古屋商科大学）、呂沢宇（東北大学）、瀧川裕貴（東京大学）
3	調査におけるトラップ質問が回答の質に与える影響についての研究	○森坂太一（東北大学大学院）、西尾知耀（東北大学大学院）
4	誰が社会学を科学的と捉えるか？：社会学イメージの具体度と科学度合い認識の規定要因	○高橋祐貴（東京大学大学院）、渡辺健太郎（立教大学）
5	育児期にある女性の就業とメンタル・ヘルス：パネルデータを用いた検討	斎藤裕哉（東京大学）
6	隠れマルコフモデルによる新聞における単語の出現頻度からの出来事の発生時期の推測	大谷康人（東京大学大学院）
7	資産形成過程における軌跡類型の析出とその後の就労・生活満足度への影響	張佳潔（東京大学大学院）
8	子育て共働き世帯におけるテレワークの有用性	及川怜（常磐大学）
9	社会ネットワークと主観的ウェルビーイング：既婚女性の子育て相談ネットワークの分析	数土直紀（一橋大学大学院）
10	家庭の社会経済的背景と子どもの非認知能力の関連—子育ての特徴に着目して—	鐘婧雯（東北大学大学院）
11	E Religious Participation and Social Trust: Reassessing the Role of Religion in European Countries	JINGYI ZHAO（大阪大学）
12	国際結婚における接触と機会構造の影響——日本の視点から	AICHHOLZER Stefan（大阪大学）
13	ヴィネット調査を用いた研究者の職業威信と適正賃金の決定要因の検討	○池田岳大（立教大学）、渡辺健太郎（立教大学）
14	初期キャリアにおける仕事の価値の個人内変動	田靡裕祐（愛知大学）
15	新型コロナ感染症関連用語の社会的許容度に関する経時変化の分析—4回にわたる反復調査の結果から—	○前田忠彦（統計数理研究所）、石橋拳（統計数理研究所/専修大学大学院）、朝日祥之（国立国語研究所）、鎌水兼貴（国立国語研究所）
16	日本における大学生のギグワーカの働く動機と充実度の関連分析	○小松碧（同志社大学）、河瀬彰宏（同志社大学）

17	「GIGA スクール端末」を用いた『聞き書きマップ』実施の可能性と課題	原田豊（立正大学）
----	-------------------------------------	-----------

* * * * 休憩（10分） * * * *

11:00～12:50 研究活動委員企画シンポジウム

階層研究における新たな説明の可能性に向けて：地位構造とその決定過程を問い合わせ直す

司会 永吉希久子（東京大学）

F407室

1	労働市場における価値問題：能力・スキル評価と制度	有田伸（東京大学）・永吉希久子（東京大学）
2	不平等研究に対する組織的アプローチの意義	吉田航（国立社会保障・人口問題研究所）
3	医療プロフェッショナルの賃金決定：国家公務員俸給表の改定過程の分析から	西村健（松山大学）
指定討論者 太郎丸博（京都大学）		

12:50 閉会挨拶 大会委員長 大林真也

F407室

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。